

Skip UP!

2013年5月28日

発行責任者 森川 学

NO. 57

編集責任者 情 宣 部

2013年度 夏季手当

第3回交渉 打ち切り!

中央本部は、本日10時より第3回夏季手当交渉を行いました。今回は要求の根拠について明らかにしました。しかし、会社から私たちに対して誠意ある姿勢が無く、会社の将来ビジョンや経営体制の改革について答えられず、第3回交渉は打ち切りとしました。

《要求の根拠》

- ①ほぼ毎日、自然災害・輸送障害が発生している中で、安全と安定輸送のみならず、収入確保に向けて努力し、24年度決算は前年から3億円も黒字が上がった。職場の組合員が誇りと自信を持って働けるようモチベーションを高めることが重要。
- ②経済環境がますます厳しくなる状況で、さらには、あろうことか人件費・期末手当の削減を検討する会社は断じて許さない。
- ③発足以降、厳しい状況で支えてきたのはJR貨物労組である。真面目に働く組合員に「要求満額回答」で誠意ある姿勢を表すべき。

《会社》

- ①収入確保に対して現場の社員に敬意を表したい。
- ②24年度決算が終わったが、鉄道事業部門の赤字が拡大した。大きな問題と考えている。
- ③生活給の要素は否定しないが、業績給の要素が大きいと考えている。議論していきたい。

さらに青年部から、『役員人事はふざけている！JR貨物を新生する気があるのか！いまずぐトップを連れて来い！「敬意を表する」といつも言っているが具体的に何をするのか形で表せ！入社して数年の青年部員の年収は分かるのか？』と会社に問いましたが会社幹部は答えられませんでした！！「もっと現場で働く青年部員の実態を見ろ！」と厳しく言及しました。

皆さん！会社は私たちの実態も知らない、知ろうともしない態度です！今回も現場で働く私たちにだけ責任を押し付け、会社経営陣はこれまで通りと変わらない不誠実な姿勢です！

無責任な会社の姿勢を絶対に許さない！！

全青年部員でたたかいを激化させよう！！